

令和5年度自己点検・評価を踏まえた令和6年度中の取組事例について

このたび令和6(2024)年度の教育プログラム・学生受入に関する自己点検作業を行うにあたって、前回令和5(2023)年度の自己点検・評価結果を踏まえた令和6(2024)年度中の取組事例を照会したので、その結果を示す。

〔留意事項〕

- ・「R5判定」欄の○は「改善完了」、△は「改善継続」、※は「改善着手」、―は「対象外」を指す。
- ・**数値**は、各判定に該当する教育プログラムの総数を示す。
- ・複数項目を含む区分では、1つでも△※があれば△※(△※ともあれば※)と判定している。
- ・**有色セル**は△※判定が複数の部局(学部・研究科)に及ぶ区分で、組織的な改善が期待される。
- ・R5判定で△※が無かった区分でも、取組事例があった場合は記載した。

I : 学士課程 (12の教育プログラム)

・教育プログラムに関する点検項目

区分	R6 取組事例	R5 判定			
		○	△	※	―
1	ディプロマ・ポリシーの明示	実施せず			
2	カリキュラム・ポリシーの明示	実施せず			
3	ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの整合性	実施せず			
4	教育課程編成の体系性	6	3	3	
	項目②：カリキュラム・ツリーの作成 ・(大学院の)専攻で作成したカリキュラム・ツリーを参考に、学部での作成を検討している。 ・各プログラム間の関係が明確になるよう改訂中である。 ・教育改善委員会において検討している。				
	項目⑤：カリキュラム・ツリー及びマップにおける全学共通科目の位置付け ・適切な位置づけを行うため、検討している。				
5	授与学位の水準	12	0	0	
6	他大学における単位認定	実施せず			
7	年間の授業期間	実施せず			
8	各科目の授業期間	実施せず			
9	適切な授業形態と学習指導法の採用及びシラバスの公表	12	0	0	
10	教育上主要と認める授業科目の担当教員	11	1	0	
	項目②：主要な科目における専任教員の配置 ・点検項目が教授又は准教授から基幹教員に変わったことで改善された。				
11	夜間授業の実施	実施せず			
12	履修指導の組織的体制と実施	12	0	0	
13	学習相談の体制と実施	12	0	0	
14	社会的・職業的な自立に向けた能力養成の実施	12	0	0	
15	履修上特別な支援を要する学生への学習支援の体制と実施	12	0	0	
16	成績評価基準の組織的策定	12	0	0	

17	成績評価基準の公表	12	0	0	
18	成績評価や単位認定に関する組織的实施	12	0	0	
19	成績に対する異議申立て制度に関する組織的实施	12	0	0	
20	卒業要件の組織的策定	12	0	0	
21	卒業要件の公表	12	0	0	
22	卒業認定の組織的实施	12	0	0	
23	学習成果の把握（卒業率、資格取得、受賞等）	3	8	1	
項目①：卒業率の状況 ・標準修業年限内及び同×1.5年内の卒業率とも改善している。					
24	学習成果の把握（就職・進学率、主な就職／進学先等）	12	0	0	
25	学習成果の把握（学生からの意見聴取結果）	5	5	2	
項目①：卒業時の調査 ・教育アンケートにおいて例年通りの結果を得ている。					
項目②：各学年の調査 ・教育アンケートにおいて例年通りの結果を得ている。					
26	学習成果の把握（卒業生からの意見聴取結果）	3	0	9	
卒業生の調査 ・独自のアンケートを2024年度に実施した。 ・卒業後に意見聴取できる仕組みを検討中である。 ・「卒業（修了）生との懇談会」を実施し、出席した卒業（修了）生を対象としたアンケートを実施した。 ・本学卒業生による講演時にアンケートを実施した。					
27	学習成果の把握（就職先等の関係者からの意見聴取結果）	2	0	10	
就職先の調査 ・卒業後に意見聴取できる仕組みを検討中である。 ・卒業生及び専攻修了者の就職先担当者との意見交換を行った際は、本専攻における学修成果について概ね前向きな意見が多かった。（聴取記録はなし）					

・学生受入に関する点検項目

区分	R6 取組事例	R5 判定			
		○	△	※	－
1	アドミッション・ポリシーの明示	実施せず			
2	入学者選抜の実施	実施せず			
3	入学者選抜の検証・改善	実施せず			
4	入学者の定員管理	12	0	0	

Ⅱ：修士・博士前期課程（6つの教育プログラム）

・教育プログラムに関する点検項目

区分	R6 取組事例	R5 判定			
		○	△	※	－
1	ディプロマ・ポリシーの明示	実施せず			
2	カリキュラム・ポリシーの明示	実施せず			

3	ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの整合性	実施せず			
4	教育課程編成の体系性	0	3	3	
	<p>項目①：カリキュラム・マップの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育プログラム単位のカリキュラム・マップを作成し、DP能力の修得度に対する配点を行った。 <p>項目②：カリキュラム・ツリーの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム・ツリーを作成し、授業科目間の関係を明確にした。 ・教育プログラム単位のカリキュラム・ツリーを作成中である。 <p>項目⑤：カリキュラム・ツリー及びマップにおける共通科目の位置付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム・ツリーにより適切に位置付けた。 				
5	授与学位の水準	6	0	0	
6	他大学における単位認定	実施せず			
7	大学院課程における研究指導《大学院課程のみ》	6	0	0	
8	TA 活動を通じた教育・研究能力の育成《大学院課程のみ》	4	1	1	
	<p>個人情報保護の教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取大学 TA の心得及び TA ・ SA 必携を熟読するよう指導した。 ・大学院入学時に個人情報保護に関する誓約書の提出を求めているが、個人情報保護に関する教育までは実施していない。今後は TA 採用時の必須研修の中で個人情報保護について教育する予定である。 				
9	年間の授業期間	実施せず			
10	各科目の授業期間	実施せず			
11	適切な授業形態と学習指導法の採用及びシラバスの公表	6	0	0	
12	教育上主要と認める授業科目の担当教員	6	0	0	
13	夜間授業の実施	実施せず			
14	履修指導の組織的体制と実施	6	0	0	
15	学習相談の体制と実施	6	0	0	
16	社会的・職業的な自立に向けた能力養成の実施	6	0	0	
17	履修上特別な支援を要する学生への学習支援の体制と実施	6	0	0	
18	成績評価基準の組織的策定	6	0	0	
19	成績評価基準の公表	6	0	0	
20	成績評価や単位認定に関する組織的实施	6	0	0	
21	成績に対する異議申立て制度に関する組織的实施	6	0	0	
22	修了要件の組織的策定	6	0	0	
23	学位論文審査基準の組織的策定 《大学院課程のみ》	6	0	0	
24	修了要件の公表	6	0	0	
25	修了認定の組織的実施 《大学院課程のみ》	6	0	0	
26	学習成果の把握（修了率、資格取得、受賞等）	5	1	0	
27	学習成果の把握（就職・進学率、主な就職／進学先等）	6	0	0	
28	学習成果の把握（学生からの意見聴取結果）	2	1	3	
	<p>項目①：修了時における学生からの意見聴取結果を踏まえた学修成果の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育アンケートを実施し、教育方法改善委員会で解析し、意見を反映している。 				

29	学習成果の把握（修了生からの意見聴取結果）	1	1	4	
30	学習成果の把握（就職先等の関係者からの意見聴取結果）	1	0	5	

・学生受入に関する点検項目

区分	R6 取組事例	R5 判定			
		○	△	※	－
1	アドミッション・ポリシーの明示	実施せず			
2	入学者選抜の実施	実施せず			
3	入学者選抜の検証・改善	実施せず			
4	入学者の定員管理	5	0	1	
項目②：入学定員に対する入学者数の適正化 ・社会人向けの制度の実施により積極的に受け入れ、また広報活動も随時行っている。					

Ⅲ：博士・博士後期課程

・教育プログラムに関する点検項目（10の教育プログラム）

区分	R6 取組事例	R5 判定			
		○	△	※	－
1	ディプロマ・ポリシーの明示	実施せず			
2	カリキュラム・ポリシーの明示	実施せず			
3	ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの整合性	実施せず			
4	教育課程編成の体系性	3	4	3	
項目①：カリキュラム・マップの作成 ・教育プログラム単位のカリキュラム・マップを作成し、DP能力の修得度に対する配点（重み付け）を教育プログラム単位で統一的に行っている。 ・カリキュラム・マップの作成およびDP能力修得度に対する重み付けを行う仕組みを検討中である。 ・2022年度にDP配点表を作成したが、カリキュラム・マップは作成していない。					
項目②：カリキュラム・ツリーの作成 ・カリキュラム・ツリーの作成について検討中である。					
項目⑤：カリキュラム・ツリー及びマップにおける共通科目の位置付け ・履修案内において説明している。 ・教育改善委員会で検討している。					
5	授与学位の水準	10	0	0	
6	他大学における単位認定	実施せず			
7	大学院課程における研究指導《大学院課程のみ》	10	0	0	
項目③：研究倫理教育の実施 ・eAPRINによる研究倫理教育を実施している。					
8	TA活動を通じた教育・研究能力の育成《大学院課程のみ》	0	0	0	10
9	年間の授業期間	実施せず			
10	各科目の授業期間	実施せず			
11	適切な授業形態と学習指導法の採用及びシラバスの公表	10	0	0	
12	教育上主要と認める授業科目の担当教員	10	0	0	

13	夜間授業の実施	実施せず			
14	履修指導の組織的体制と実施	10	0	0	
15	学習相談の体制と実施	10	0	0	
16	社会的・職業的な自立に向けた能力養成の実施	10	0	0	
17	履修上特別な支援を要する学生への学習支援の体制と実施	10	0	0	
18	成績評価基準の組織的策定	10	0	0	
19	成績評価基準の公表	10	0	0	
20	成績評価や単位認定に関する組織的实施	9	0	1	
21	成績に対する異議申立て制度に関する組織的実施	10	0	0	
22	修了要件の組織的策定	10	0	0	
23	学位論文審査基準の組織的策定 《大学院課程のみ》	10	0	0	
24	修了要件の公表	10	0	0	
25	修了認定の組織的実施 《大学院課程のみ》	10	0	0	
26	学習成果の把握（修了率、資格取得、受賞等）	1	2	7	
27	学習成果の把握（就職・進学率、主な就職／進学先等）	10	0	0	
28	学習成果の把握（学生からの意見聴取結果）	2	5	3	
項目①：卒業時の調査					
・教育アンケートにおいて例年通りの結果を得ている。					
・2024年度修了生に対する学修の達成度や満足度に関するアンケートを実施した。					
項目②：各学年の調査					
・教育アンケートにおいて例年通りの結果を得ている。					
29	学習成果の把握（修了生からの意見聴取結果）	4	0	5	1
修了生の調査					
・修了後に意見聴取できる仕組みを検討中である。					
30	学習成果の把握（就職先等の関係者からの意見聴取結果）	3	0	7	
就職先の調査					
・就職先関係者より意見聴取できる仕組みを検討中である。					

・学生受入に関する点検項目（7の教育プログラム）

区分	R6 取組事例	R5 判定			
		○	△	※	－
1	アドミッション・ポリシーの明示	実施せず			
2	入学者選抜の実施	実施せず			
3	入学者選抜の検証・改善	実施せず			
4	入学者の定員管理	4	0	3	

*博士課程については、2022年度の改組からまだ間がないことから、教育プログラムは旧組織（10プログラム）、学生受入は新組織（7プログラム）を単位として、自己点検・評価を実施した。